

(第3学年)

教科目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象をより深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然、美術作品や文化遺産などについて理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

月	単元・題材名	時数	学習活動	評価規準	観点	評価方法
4	鑑賞 『空想の世界』	1	・「空想の世界」のビデオを視聴し、空想が・超現実派の作品を理解する。	・意欲的に取り組むことが出来る。 ・作品の不思議さおもしろさを感じ取ろうとしている。		・行動観察 ・学習プリント
	鑑賞 『日本の美術』	1	・伽藍・塔・仏像について知る。	・日本の美術について理解する事ができる。		・中間テスト
5 6	空想画 (点描を使ったCDケース)	12	・超現実派・生徒作品を参考に観る。 ・資料をもとに現実的な形を組み合わせ、下絵を描く。 ・ペンで点描練習する。(直線・曲線・面・円柱・円錐・球) ・下絵をCDケース(台紙)に写す。 ・CDケース(台紙)にペンで点描する。	・空想画と点描画について理解することができる。 ・不思議な世界をイメージし表現できる。 ・美しい点描の仕方をマスターする。 ・正しく転写することができる。 ・丁寧に根気強く制作することができる。		・下絵 ・練習プリント ・作品
	美術館鑑賞 (夏休み課題)		・美術館や地域の美術作品を鑑賞する。	・様々な作品から良さを感じ取る。		・レポート

月	単元・題材名	時数	学習活動	評価規準	観点	評価方法
9	空想画(続き)	1	・CDケース(台紙)にペンで点描する。む	・しっかり点を打ち、完成度の高い作品をつくる。		・作品
10	印材・印鑑入れ (平面構成を使って)		・自分にはいると思えるモチーフを選ぶ。	・自分の個性をよく理解しているか。		・モチーフ
11			・モチーフをいろいろな角度からスケッチする。	・よく観てスケッチすることができる。		・スケッチ
12			・スケッチを単純化し構成する。	・自分らしくて、印材入れの形に合った構成を考慮することができる。		・下絵
1	篆刻	8	・篆刻について学ぶ。	・篆刻について理解する。		・学年末テスト
2			・印稿を高蠟石に転写する。	・印を彫るのに適し、印の大きさ・形に対しバランスのよい印稿を考える事ができる。		・下絵
3			・印刀で印を彫る。	・意欲的に制作し、計画通りに制作し、作品提出をする。		・行動観察
			・鈕の図案を考える。	・道具を正しく使い、丁寧に制作することができる。		・作品(印面)
			・印刀,彫刻刀を使用し,鈕を彫る。	・鈕に適した美しさと機能を兼ね備えた図案を考える事ができる。		・作品(アイデアスケッチ)
			・磨く。	・道具を正しく使い,丁寧に制作することができる。		・作品(鈕)
合 計		35				